

1 趣旨

平成26年6月16日（月）に新潟地震から50年目を迎える。半世紀もの時が過ぎ、新潟のまちの形も人々の営みも大きく変わってきた。

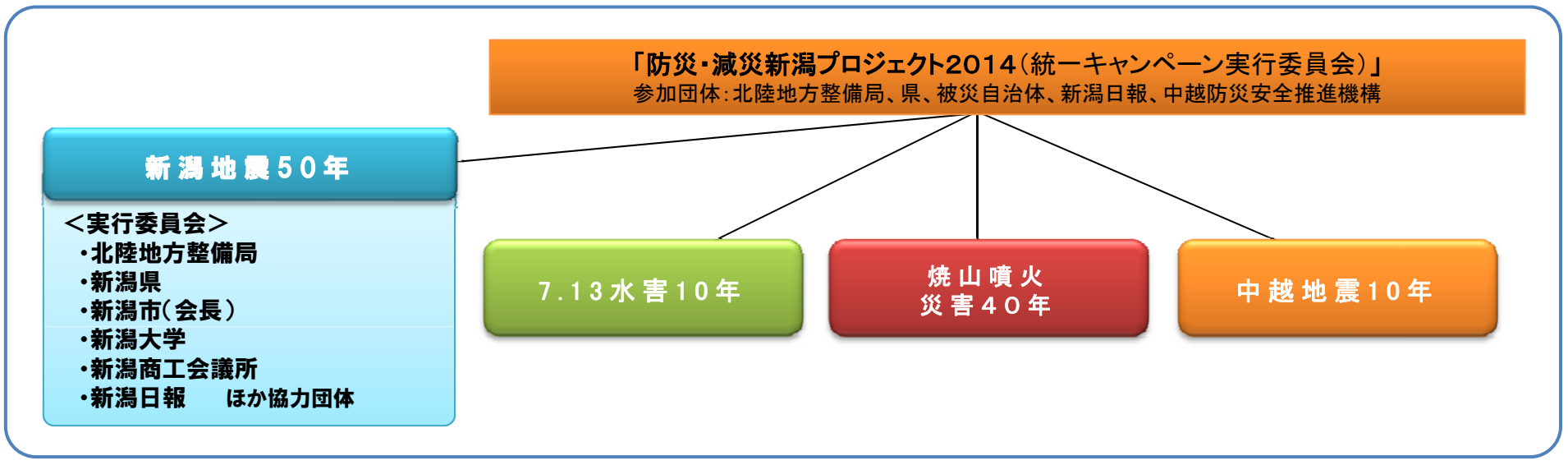
また、大災害を経験したことがない世代が増えており、記憶の風化を防ぎ、このまちが経験した教訓を将来の世代に引き継いでいくことが今大切である。

この節目の年に、民・産・学・官で連携し、各種事業の実施を通じて、改めてまちの防災力を見つめ直し、これからの地域づくり、まちづくりに生かしていくことを目指す。

2 本実行委員会と統一キャンペーン実行委員会について

平成26年度は「新潟地震50年」のほかにも、「7.13水害から10年」や「中越地震から10年」など、県内の各地でメモリアル年となることから、国と県が中心となって全県レベルの広報等を担う統一キャンペーン実行委員会組織「防災・減災新潟プロジェクト2014」を10月23日に立ち上げた。

新潟地震50周年事業実行委員会では、新潟地震で被害の大きかった新潟市域を中心として住民に向けた様々な防災力向上事業を展開していく。



新潟地震50周年事業について

3 本実行委員会の構成

顧問	北陸地方整備局長	野田 徹
	新潟県知事	泉田 裕彦
会長	新潟市長	篠田 昭
副会長	新潟商工会議所会頭	福田 勝之
	新潟日報社代表取締役社長	高橋 道映
委員	北陸地方整備局企画部長	木村 邦久
	新潟県防災局長	山田 治之
	新潟大学危機管理室教授	田村 圭子 (監事)
	新潟市危機管理防災局長	阿部 眞也
	新潟商工会議所事務局長	大高 知史 (監事)
	新潟日報社編集局長	渡辺 隆

(敬称略)

※協力団体

防災関係機関やライフライン事業社、各種学会など(人的、金銭的、広報等での協力を依頼)

新潟地震50周年事業について

4 事業概要

		H26年度													
H25年度		4月	5月	6月										16月	
				...	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
						土	日						土	日	月
新潟地震50周年事業	<p>○「1/17(金)」 ○新潟地震50周年事業キックオフ 「共助を考える市民の集い」※新潟市主催</p>	<p>○新潟地震・防災パネル展を開催(市内各地) ○新潟地震の被災現場を巡るツアー ○各区での地域密着型防災イベント</p> <p>ほか</p> <p><各種事業を企画中></p>													
		<p>○防災フェア(仮称)(古町モール6・7) ・車両展示(起震車、はしご車等)、液化化実験、 防災食体験、被災県物産展ほか</p>	<p>○新潟地震50周年シンポジウム(朱鷺メッセマリンホール) ○統一キャンペーン巡回パネル・映像展(朱鷺メッセホワイエ)</p>	<p>○全市一斉シェイクアウト ・小中学校等避難訓練・情報伝達訓練 ○住民参加型の津波避難訓練 ○県市総合防災訓練 ・救出、救助等の実動訓練</p>											
	<p>○新潟地震50周年記念誌の作成 新潟地震にまつわる当時の写真、日記、体験談などを市民から募集して記念誌を作成</p>														
	<p>◆新潟地震から50年を迎えるにあたり、</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <p>①今、同じ規模の地震が起きた時、新潟のまちはどうなるか。 ②この50年間にどういった対策をとってきたか。 ③命を守るためにどういう行動をとるべきか。</p> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <p>を市民とともに考え、発信していく。</p> </div> </div>														
広報	<p>○市報・・・12/29号(50周年記事掲載) ※期間中は、防災意識の啓発・市の取り組みなどを掲載 ○新潟日報・・・1/1より 50周年記念誌等で使用する写真等の募集告知掲載予定 ※期間中は、過去の災害記録やイベント情報などを掲載</p>														
	<p>○市報・・・ 防災特集号 ○新潟日報・・・新潟地震特集号</p>														